

# 臨床研究「近赤外線分光法を用いた脳機能の新しい評価方法 ー簡易で非侵襲でリアルタイムにー」について

筑波大学附属病院 救急・集中治療科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

- ① 研究の目的：  
近赤外線分光法を用いた機械（NIRO-CCR1、NIRO-Pulse）を用いて、非侵襲的でリアルタイムに簡易に脳の酸素飽和度と脳血流を評価します。これまで明らかでなかった心肺蘇生や脳の治療中に血液がどれだけ供給されているかを推定できれば、より効果的な心肺蘇生法や脳血管の治療法を開発できる可能性があります。
- ② 研究対象者：2015年7月22日から2022年3月31日まで  
病院内外で心肺停止になられた患者様、ICU・HCU・PICUに入室された患者様、頸動脈狭窄症の治療を受けた患者様
- ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後 ～ 2024年3月31日まで
- ④ 研究の方法：  
前額部にプローブを装着し、救急車内ではNIRO-CCR1を、病院内ではNIRO-Pulseを用いて測定します。生体に安全な光を用いて測定するので、侵襲的な手技を加えることはありません。  
本研究は観察研究であり、プローブ装着以外利益・不利益も被りません。
- ⑤ 試料・情報の項目：心肺蘇生行為の詳細な記録、動脈圧波形の記録、検査データ
- ⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者：筑波大学附属病院 救急・集中治療科 井上貴昭
- ⑦ 本研究の利益相反について  
研究グループ内には、本試験で使用するNIRO-CCR1の発明者として特許を取得しており、将来、報酬を得る可能性があります。しかしながら、研究の独立性については筑波大学附属病院倫理審査委員会にて審議され承認を受けて実施しております。
- ⑧ 保有する個人情報に関する利用目的  
利用する情報からは、お名前、住所など、患者様を直接同定できる個人情報は削除します。  
研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。
- ⑨ 本研究へ参加を希望されない場合  
患者様や御家族（御遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。
- ⑩ 問い合わせ連絡先  
筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1  
所属・担当者名：救急・集中治療科 井上貴昭、小山泰明  
電話・FAX：029-853-3081（救急・集中治療科 平日 9:00～17:00）